

野菜の需給・価格動向レポート(平成26年3月3日版)

1 主要野菜の生産出荷状況

種類	1月の価格情報		2月の価格情報			生育及び価格の3月の見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格				
		下旬		上旬	中旬			
葉 茎 菜	キャベツ 	88.05	127	88.05	108	103	・愛知産は、2月14日の降雨による収穫作業の遅れも回復し順調な出荷となっているものの、引き続き小玉傾向のため少なめの出荷の見込み。千葉産は、2月14日の大雨による収穫作業の遅れは回復し、順調な生育、出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。神奈川県産は、平年並みの出荷の見込み。 ・愛知産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年をやや上回って推移する見込み。	
		83.73	128	83.73	111	100	・入荷見込数量：5,100t (100) ・主産地：愛知 (42)、兵庫 (16)、大阪 (15)、和歌山 (9)	
	ねぎ (関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ) 	229.99	200	229.99	250	457	・千葉産は、2月14日の降雨と強風の影響による収穫の遅れも回復し、順調な出荷で平年並みの出荷となり、今後も平年並みの出荷の見込み。埼玉産は、2月14日の大雪の影響により、収穫が滞っていることと、葉折れ等も発生し正品率が低下していることから、少なめの出荷の見込み。茨城産は、降雪の影響もなく、平年並みの出荷の見込み。 ・埼玉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。	
		450.51	490	450.51	513	529	・入荷見込数量：220t (88) ・主産地：徳島 (28)、三重 (15)、香川 (15)、奈良 (12)、高知 (12)、大阪 (10)	
	はくさい 	61.12	53	61.12	62	75	・兵庫産は、降雪等により収穫作業が遅れていたものの出荷分も加わり、現在、平年より多めの出荷になっている。今後は冷蔵ものの出荷となることから、平年並みの出荷の見込み。2月14日の降雪による収穫の遅れも回復し、順調な出荷の見込み。群馬産は、降雪の影響により、少なめの出荷の見込み。 ・兵庫産及び茨城産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		68.7	64	68.7	64	69	・入荷見込数量：3,300t (101) ・主産地：長崎 (57)、愛知 (16)、兵庫 (10)、熊本 (9)	
	ほうれんそう 	307.66	515	307.66	406	534	・茨城産は、降雪の影響もなく、平年並みの出荷の見込み。群馬産及び埼玉産は、2月14日の降雪の影響で、ハウス等の倒壊もあり少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。千葉産は、降雪や低温の影響で生育が停滞し、少なめの出荷となっており、今後も少なめの出荷の見込み。 ・群馬産、埼玉産及び千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		341.25	543	341.25	387	397	・入荷見込数量：670t (100) ・主産地：徳島 (58)、福岡 (27)	
	レタス (結球) 	233.85	268	233.85	202	189	・茨城産は、降雪の影響も少なく、順調な生育、出荷の見込み。静岡産は、順調な生育、出荷となっており、今後も平年並みの出荷の見込み。香川産及び兵庫産は、2月14日の降雪と低温の影響で、生育が停滞し少なめの出荷となっていたが、今後は、生育が進み、平年並みの出荷の見込み。 ・順調な出荷が見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。	
		226.75	258	226.75	199	187	・入荷見込数量：1,350t (90) ・主産地：兵庫 (35)、徳島 (22)、香川 (21)、茨城 (8)、長崎 (6)	
	たまねぎ 	76.15	134	76.15	136	140	・北海道産は、生育期の少雨等の影響で全体的に小玉傾向の貯蔵ものの出荷となっており、平年より少なめの出荷の見込み。静岡産は、順調な生育で、平年より多めの出荷の見込み。 ・出荷の大宗を占める北海道産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。	
		76.15	135	76.15	139	137	・入荷見込数量：4,000t (89) ・主産地：北海道 (54)、長崎 (17)、兵庫 (14)、静岡 (6)	
果 菜	きゅうり 	370.98	354	370.98	303	386	・群馬産及び埼玉産は2月14日の降雪によるハウスの倒壊などにより、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。宮崎産は、低温の影響で少なめの出荷となっていたが、最近の好天により生育が回復し、今後は平年並みの出荷の見込み。千葉産は、今後は平年並みの出荷の見込み。 ・群馬産及び埼玉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。	
		350.33	333	350.33	283	363	・入荷見込数量：1,200t (89) ・主産地：宮崎 (41)、高知 (22)、徳島 (17)、愛媛 (7)	
	トマト (大玉) 	332.6	329	332.6	329	348	・熊本産は、最近の低温の影響で、生育が進まずやや少なめの出荷となっているものの、今後は天候の回復とともに、徐々に出荷量が回復する見込み。栃木産は、降雪の影響によるハウス倒壊や、最近の低温の影響から着色が遅れていることから、少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・栃木産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。	
		311.06	325	311.06	321	345	・入荷見込数量：1,100t (93) ・主産地：熊本 (62)、福岡 (15)、愛知 (8)	
	なす 	389.03	369	389.03	367	414	・高知産は、曇天と低温の影響により少なめの出荷となっているものの、今後は気温の上昇とともに順調な出荷が見込まれることから、おおむね平年並みの出荷の見込み。福岡産は、低温の影響で少なめの出荷となり、今後も少なめの出荷の見込み。 ・福岡産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。	
		397.74	342	397.74	344	416	・入荷見込数量：540t (90) ・主産地：高知 (34)、熊本 (25)、福岡 (19)、岡山 (10)、大阪 (7)	
	ピーマン 	551.24	678	551.24	657	665	・茨城産は、低温等の影響で少なめとなっているが、気温の上昇とともに、今後は出荷量が増加する見込み。宮崎産は、生育は概ね順調であるため、平年並みの出荷の見込み。高知産は、2月中旬の低温等の影響により少なめの出荷となっているが、中旬からは増加する見込み。 ・出荷量の増加が見込まれることから、平年を上回っている価格は、平年並みに近づく見込み。	
		513.91	648	513.91	625	630	・入荷見込数量：340t (86) ・主産地：宮崎 (58)、高知 (24)、鹿児島 (8)、和歌山 (6)	
	根 菜	だいこん 	79.03	70	79.03	75	106	・神奈川県産は、2月14日の降雪による収穫作業の遅れが回復し、順調な出荷の見込み。千葉産は、2月14日の降雨と強風によりトンネルの栽培シートがはがれたため品質低下が見られ、少なめの出荷の見込み。 ・神奈川県産の出荷が順調と見込まれることから、価格は、平年並みに推移する見込み。
			80.47	73	80.47	68	76	・入荷見込数量：2,900t (94) ・主産地：長崎 (33)、徳島 (27)、鹿児島 (27)、香川 (7)
		にんじん 	101.05	129	101.05	129	160	・千葉産は2月14日の降雨の影響による収穫作業の遅れが回復し、おおむね平年並みの出荷となったものの、今後は出荷の終盤を迎え、やや少なめの出荷の見込み。徳島産は、天候に恵まれたことから、遅れていた生育が回復し、3月中旬から本格的な出荷となり、平年並みの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、引き続き平年を上回って推移する見込み。
	104.73		112	104.73	109	128	・入荷見込数量：2,400t (95) ・主産地：鹿児島 (62)、徳島 (17)、愛知 (10)、長崎 (7)	

種類	1月の価格情報		2月の価格情報			生育及び価格の3月の見通し		
	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格 下旬	(参考)保証基準額の算定の基となる平均価格	指定野菜の関東・近畿ブロック別平均販売価格 月上旬	中旬			
いも	さといも	217.95	225	217.95	238	258	・入荷見込量：630t (95) ・主産地：埼玉 (34)、千葉 (34)、輸入 (8)	・埼玉産は、掘り取りが終了しており、平年並みの出荷の見込み。千葉産は、夏場の高温、少雨の影響から少なめの出荷の見込み。 ・千葉産の出荷が少なめと見込まれることから、価格は、平年を上回って推移する見込み。
		219.65	286	219.65	281	422	・入荷見込量：185t (-) ・主産地：愛媛 (44)、宮崎 (43)、熊本 (6)、輸入 (6)	
	ばれいしょ	88.17	102	88.17	98	96	・入荷見込量：8,740t (98) ・主産地：北海道 (62)、鹿児島 (34)	・北海道産は、平年並みの出荷となっている。鹿児島産は、作柄は順調で大玉傾向であるものの、最近の降雨により収穫作業が遅れていることから、おおむね平年並みの出荷の見込み。 ・出荷の大宗を占める北海道産の貯蔵ものの計画的な出荷が見込まれることから、平年を上回っている価格は、引き続き現状程度の水準で推移する見込み。
	88.17	98	88.17	93	90	・入荷見込量：4,100t (99) ・主産地：鹿児島 (56)、北海道 (43)		

注：1 平均価格は、過去6年間の中央卸売市場の各指定野菜の卸売価格を物価指数で修正した価格の平均(消費税は除く。)  
2 旬別平均販売価格の赤字は平均価格を50%以上回るもの、背景ありは保証基準額(平均価格の90%)を下回るもの(消費税は除く。)  
3 単位は円/kg、上段は関東、下段は近畿ブロック  
4 入荷見込量は、関東農政局及び近畿農政局「野菜の入荷量と価格の見通し」による。( )内は前年対比  
5 主産地は、東京都及び大阪市中央卸売市場への出荷の多い県名。( )内は入荷シェアであり、関東は本年の見込み、近畿は前年の実績  
6 コメントは、都道府県、出荷団体、都道府県野菜価格安定法人、卸売会社等からの聴取りをもとに機構が作成したもの  
7 平成25年8月20日版より、平均価格と旬別平均販売価格を一部の品目につき細分化し、ねぎについては関東は白ねぎ、近畿は青ねぎ、レタスについてはレタス(結球)、トマトについてはトマト(大玉)の数値を用いている。

## 2 野菜の需要動向

年	生鮮野菜の購入数量及び購入金額 (1人当たりの購入数量と購入金額)						主要野菜の小売価格(東京都区部) (単位：円/kg)							
	過去5か年平均		平成25年		平成26年		キャベツ		レタス		5か年比 (%)			
	購入数量 (g)	購入金額 (円)	購入数量 (g)	購入金額 (円)	購入数量 (g)	前年比	購入金額 (円)	前年比	過去5か年平均	平成26年	過去5か年平均	平成26年		
1月	4,252	1,595	4,243	1,669	4,379	103	1,775	106	198	267	135	673	684	102
2月	4,463	1,624	4,553	1,652		0		0	211	234	111	605	566	93
3月	4,836	1,772	4,961	1,769		0		0	200		0	498		0
4月	4,747	1,838	5,019	1,809		0		0	248		0	469		0
5月	5,103	1,902	5,257	1,861		0		0	169		0	371		0
6月	5,092	1,885	5,249	1,897		0		0	137		0	317		0
7月	4,423	1,712	4,456	1,783		0		0	153		0	322		0
8月	4,324	1,713	4,422	1,741		0		0	140		0	415		0
9月	4,768	1,803	4,577	1,863		0		0	149		0	506		0
10月	5,238	1,861	5,225	1,932		0		0	158		0	449		0
11月	4,993	1,671	4,852	1,806		0		0	162		0	421		0
12月	5,142	1,882	5,152	2,093		0		0	162		0	521		0

資料：総務省「家計調査報告(二人以上世帯(農林漁家世帯を除く))」注：過去5か年平均は、平成20～24年の平均。  
資料：総務省「小売物価統計調査報告」注：1 過去5か年平均は、平成21～25年の平均。  
2 平成26年2月の値は、2月中旬の速報値。

## 3 野菜の輸入動向

区分	野菜の輸入数量 (単位：トン、%)						主な野菜の輸入数量 (単位：トン、%)				
	平成24年		平成25年		平成26年1月		品目	輸入先	平成25年1月(A)	平成26年1月(B)	(B)/(A)
	前年比	前年比	前年比	前年同期比							
生鮮野菜	946,931	103	854,057	90	94,093	142	たまねぎ	合計	20,540	35,836	174
加工野菜	1,909,671	106	1,854,295	97	170,471	100		中国	17,167	28,327	165
野菜合計	2,856,601	105	2,708,352	95	264,564	112		アメリカ	3,167	7,127	225
うち中国産野菜合計	1,458,418	103	1,415,901	97	144,226	118	にんじん	合計	5,691	6,340	111
中国産シェア	51		52		55			中国	5,533	5,769	104
								台湾	75	397	529
							ねぎ	合計	5,357	4,486	84
								中国	5,338	4,454	83

資料：ベジ探(原資料)財務省「貿易統計」  
資料：農林水産省「植物防疫統計」注：平成26年1月は、速報値。

## 4 トピック — 大雪の影響について —

関東甲信地域は、全国の野菜の農業産出額の3割強を占め、施設園芸も盛んである。  
2月14日から16日にかけての関東甲信地域を中心とする大雪では、記録的な積雪と雪の重み等から、農業用ハウスの倒壊や野菜、果樹の損傷等、かつてない農業被害が生じている。(参考：関東甲信各都県の農業被害暫定額 約650億円(各都県集計、2/24段階)  
2月の時期に首都圏に出荷される根菜類(だいこん、にんじん)、葉物類(ほうれんそう、ねぎ、キャベツ等)は、関東地域が主力産地であることから、これら品目を中心に、大雪、降雪等による損傷や収穫遅れ、物流の一時的停滞等から、出荷量が減少し、高値傾向となった。  
なかでも、ねぎやほうれんそうの主力産地である埼玉県、群馬県で記録的な積雪となったため、2月中旬以降の需給動向をみると、いずれの品目も出荷量の減少等により価格が大幅に上昇した。  
現在、産地では復旧に向けた取組が着手され、出荷量が回復しつつあるだいこん、キャベツ等の品目もあるが、ハウスの倒壊、今後の野菜苗の生産や農作業の遅れ等の影響が懸念される品目もあり、春以降の被災産地等に係る品目別の需給動向をさらに注視していく必要がある。

### 2月の首都圏への主な野菜の出荷のシェアと降雪量(関東地域)

2月14～16日の最高積雪量

資料：ベジ探(原資料)東京都中央卸売市場月報、気象庁「気象統計情報」  
注：品目及び%は、東京都中央卸売市場の平成25年の実績

### ほうれんそうの入荷量と卸売価格の推移(1～2月 東京都中央卸売市場)

資料：青果物情報センター

### ねぎの入荷量と卸売価格の推移(1～2月 東京都中央卸売市場)

資料：青果物情報センター

●問い合わせ先 独立行政法人農産産業振興機構 野菜需給部 需給業務課 村野、斎藤、山田 TEL03-3583-9483、FAX03-3583-9484 ご意見、ご要望をお寄せください。  
◆「野菜の需給・価格動向レポート」は月2回公表しています。公表時にメルマガでお知らせしますので、ご希望の方はベジ探のトップ画面、メルマガ配信登録・解除ボタンから登録してください。  
★この「野菜の需給・価格動向レポート」は、[http://vegetan.alic.go.jp/vegetable\\_report.html](http://vegetan.alic.go.jp/vegetable_report.html)に掲載しています。